

TGM

「T8」タイプが好評

縦型穴開け・ミールリング機

TGM(東京都千代田区、弘中崇社長、03・62661・1260)は、イタリア・ネプチューン社の縦型穴開け機「QuickDrill(クイックドリル)」、ミールリング機を加えた「Quick2(クイックツー)」を販売している。国内では特に、「クイックドリル」「クイックツー」シリーズともに8種の加工ツールチェーンを備えた「T8」タイプが好評で、導入実績が2008年に創業。バベロニ社の技術を踏襲しており、バベロニ社の伝統的な設計思想を基に、設備性能、耐久性を追求した製品を開発している。

「クイックドリル」シリーズは、縦型の穴開け機。加工可能な最大ガラスサイズは、ラインアップによって高さ1600×幅3000ミリ、高さ2800×幅4500ミリ、厚さ3〜30ミリに対応。ガラス上の任意の位置に直

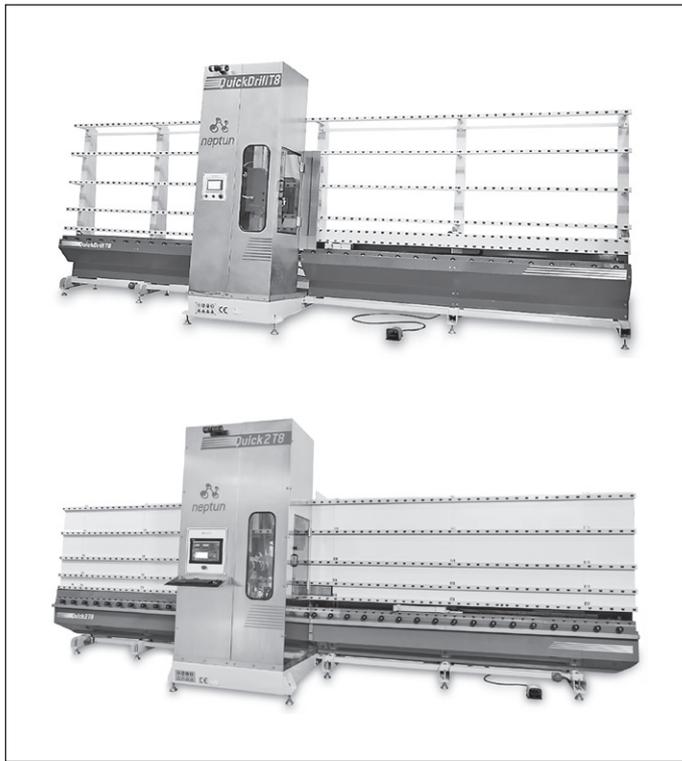
径4〜75ミリの穴加工が可能で、加工位置の精度はプラスマイナス0.15ミリを誇る。カウンタースINK加工にも対応する。

「クイックツー」シリーズは、NC制御式マシンニングセンター。ネプチューン社が培った経験と新鋭のシステムを融合させ、高品質と長寿命化を実現。加工可能な最大ガラスサイズは「クイックドリル」シリーズと同じで、最大200×300ミリのヒンジ用切削加工、切り欠き加工も可能。

「クイックドリル」「クイックツー」シリーズともに8種の加工ツールチェーンを備えた「T8」タイプが国内で好評という。スピンドルは堅牢(けんろう)で、ハイトルク仕様(毎分1万回転)。高い加工品質と低振動で加工できる。次工程の加工位置調整時間を利用し、約8秒でツールを交換する。

ネプチューン社独自のDCS(ドリルコントロールシステム)によって、加工ツールの切削能力に応じて送り速度を自動で管理。加工サイクルが自動的に短縮され、ツールの損耗に応じて自動でドレッシングするなど、オペレーターが介入しなくても高い加工性を維持できる。加工時にはサクシオンカッパが背面から加工位置付近でガラスを確実に固定。振動を最小限に抑え、迅速で高性能な加工を実現する。

ネプチューン社は穴開け機他、コバ磨き機(「ROCK」シリーズ)、縦型・横型ガラス洗浄機(「WAVE」「TORNADO」シリーズ)、ガラスハンドリングロボットなど多様なガラス加工設備をラインアップ。設備の導入実績は世界70カ国以上で累計1500台に上る。



①縦型穴開け機「クイックドリルT8」②ミールリング機能を加えた「クイックツーT8」

「T8」タイプが国内で好評という。スピンドル